

令和7年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

夢を実現する「夢創造館」（「職工学校」時代以来の「ものづくりは人づくり」の理念を踏まえ、自主・自立を重視して、自ら夢に向かって意欲的に「創造」できる場を提供し、確かな進路実現力のある工科高校）として、ものづくりの知識や技術及び技能の活用力と論理的思考力を兼ね備えた「将来のエンジニア」を育成する。そのため、次の4項目を重点に生徒育成を行う。

1 将来を見据えた専門的な資格取得をめざし、リーディング工科高校として日本のものづくりを支える人材に必要な資質・能力を育成する。

2 基本的な生活習慣、学びに向かう態度の育成を行う。

3 心身の健康と体力の向上、社会人基礎力を身に付けた生徒を育成する。

4 時代の変化に対応し、新しい価値を創出できる人材となるべく、ものづくりの知識や技術及び技能の活用力と論理的思考力の育成を行う。

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成
- (1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み。
- ア 授業見学を奨励し、公開授業・研究授業・授業アンケート等を活用し、授業改善に取り組む。
授業でのICTを活用した主体的・対話的な学びの実現について推進し、学力の向上を図る。
- イ 教育産業の基礎学力調査を実施し、各学年の学習状況と経年変化を把握し、学習指導の向上を図る。
- ※ 教員向け学校教育自己診断の設問 35「学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある。」の肯定率を令和9年度には75%以上を維持する（R4 72.9%, R5 65.9%, R6 79.6%）。
- ※ 授業アンケートの質問5（教材活用）結果の2回平均を令和9年度には3.56以上にする（R4 3.46, R5 3.52, R6 3.54）。
- ※ 教員向け学校教育自己診断の設問 16「学習指導や教材について精選・工夫を行っている。」の肯定率を令和9年度には91%以上を維持する（R4 89.6%, R5 86.7%, R6 92.0%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 25「授業中の態度は良好である。」の肯定率を令和9年度には88%以上を維持する（R4 84.1%, R5 85.1%, R6 90.0%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 23「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」の肯定率を令和9年度には83%以上を維持する（R4 76.3%, R5 79.4%, R6 87.0%）。
- ※ 基礎学力調査における全学年平均（1,2年2回、3年1回）のGTZ 平均値(国数英)のC1 ランク以上を令和9年度には46%以上にする（R4 44.4%, R5 41.8%, R6 44.7%）。
- (2) 工科高校の特徴を生かした授業により、生徒の育成を図る。
- ア PBL（課題解決型学習）手法を取り入れた学習を1年「キャリアデザイン」、2年「総合的な探究の時間」、3年「課題研究（合同班）」で行い、課題を解決していく過程で様々な能力を育成する。
- イ 各系課題研究発表会及び合同課題研究発表会を実施する。
- ※ 授業アンケートの質問9（生徒意識2）[知識・技術の習得] 結果の2回平均を令和9年度には1年「キャリアデザイン」は3.48以上（R4 3.44, R5 3.44, R6 3.50）、2年「総合的な探究の時間」は3.48以上（R4 3.30, R5 3.56, R6 3.49）、3年「課題研究（合同班）」は3.72以上（R4 3.76, R5 3.65, R6 3.62）を目標とする。
- ※ 授業アンケートの質問1～9の2回平均を令和9年度には1年「キャリアデザイン」は3.55以上（R4 3.54, R5 3.49, R6 3.56）、2年「総合的な探究の時間」は3.52以上（R4 3.41, R5 3.59, R6 3.51）、3年「課題研究（合同班）」は3.73以上（R4 3.71, R5 3.71, R6 3.65）を目標とする。
- ※ 課題研究合同発表会の生徒アンケート「映像配信の見やすさ」の肯定率を令和9年度には70%にする（R4 28.9%, R5 60.4%, R6 67.7%）。
- 2 夢と志を持つ生徒の育成
- (1) 豊かでたくましい人間性の育成。
- ア いじめ対応や教育相談体制の充実を図り、生徒の支援を行う。
- イ あらゆる教育活動において人権教育を推進し、生徒の育成を図る。
- ウ 生徒に基本的な生活習慣であるマナーの向上とルールを厳守させ、あいさつの励行や遅刻の減少を推進し、中退防止に努める。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 22「いじめをなくし、防止しようとしている。」の肯定率を令和9年度には87%以上を維持する（R4 85.6%, R5 83.4%, R6 87.2%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 16「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率を令和9年度には64%以上を維持する（R4 59.2%, R5 62.8%, R6 68.6%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 1「学校生活は満足している。」の肯定率を令和9年度には89%以上にする（R4 86.2%, R5 85.8%, R6 85.6%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 21「人権の大切さを学ぶ機会がある。」の肯定率を令和9年度には86%以上を維持する（R4 82.6%, R5 82.5%, R6 88.2%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 17「校内では規則・ルールが守られている。」の肯定率を令和9年度には94%以上を維持する（R4 91.4%, R5 91.2%, R6 94.1%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 26「校内では挨拶がかわされている。」の肯定率を令和9年度には97%以上を維持する（R4 94.8%, R5 94.6%, R6 97.8%）。
- ※ 遅刻率を令和9年度には0.80回以下を維持する（R4 0.77回[448件/581人], R5 0.85回[470件/554人], R6 0.67回[395件/593人]）。
- ※ 中退率を令和9年度には1.0%以下を維持する（R4 1.03%[4/588人], R5 1.81%[10/554人], R6 0.51%[3/593人]）。
- ※ 保護者向け学校教育自己診断の設問 1「今工に入学させて良かった。」の肯定率を98%以上にする（R4 96.9%, R5 98.3%, R6 97.3%）。
- ※ 保護者向け学校教育自己診断の設問 3「今工は保護者の願いにこたえている。」の肯定率を95%以上を維持する（R4 91.3%, R5 94.9%, R6 95.1%）。
- (2) 生徒の自己実現に向けた支援を図る。
- ア 生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けるため、企業や大学等と連携を行い、キャリア・パスポートの活用も含めてキャリア教育・職業教育の充実を図るとともに、様々な資格に挑戦できるよう、日々の学習活動や放課後に指導を行い、頑張る生徒を支援する。
- イ きめ細かな進路指導を行い、就職・進学希望者等の多様な進路希望の実現を図る。
- ウ 卒業3年後の離職率調査を継続し、就職指導を充実させる。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 28「今工生であることに誇りを持っている。」の肯定率を令和9年度には75%以上を維持する（R4 73.0%, R5 70.3%, R6 77.2%）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 29「平日の授業以外での学習の時間はどれくらいですか（補習・塾等含む）。」の1時間以上を令和9年度には23%以上を維持する（R4 19.9%, R5 23.5%, R6 18.3%）。
- ※ 資格取得率を令和9年度には85%以上を維持する（R4 92.3%[543件/588人], R5 85.4%[473件/554人], R6 65.8%[390件/593人]）。
- ※ SPI テスト業者の変更により、総合点は100点満点から80点となるため、令和9年度には全国平均1.2倍以上に3年生SPI テスト結果を維持する（R4 1.22倍[学校63.5点/全国51.9点], R5 1.18倍[60.7点/51.6点], R6 1.13倍[57.5点/50.9点]）。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 13「進路の情報をよく知らせてくれる。」の肯定率を令和9年度には95%以上を維持する（R4 91.2%, R5 94.4%, R6 95.3%）。
- ※ 就職一次内定率87%以上を目標とする（R4 91.1%, R5 93.7%, R6 88.5%）。
- ※ 進路実現度100%（就職率・進学率）を目標とする（R4 98.0%(99.3%・94.8%), R5 99.3%(99.1%・100%), R6 98.8%(99.2%・97.7%)）。
- ※ 離職率20%以下を目標とする（R4 [H31.3卒] 20.4%, R5 [R2.3卒] 18.3%, R6 [R3.3卒] 25.7%）。
- 3 安全安心で魅力ある学校づくり
- (1) 工科高校の魅力を発信し、志願者の安定的確保を図る。
- ア 出前授業や地域連携等を積極的に行い、広報活動に努める。

イ 中学校訪問や学校説明会の充実を図り、工科高校の魅力発信に努める。	
ウ 入学者選抜の志願者倍率を総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。	
※ 出前授業や地域連携等を令和9年度には20回以上参加を維持する（R4 14回,R5 17回,R6 21回）。	
※ 生徒の出身中学校訪問を令和9年度には22人以上参加にする（R4 25人,R5 16人,R6 21人）。	
※ 教員の中学校訪問を年間60校以上実施する（R4 34校,R5 58校,R6 112校）。	
※ 学校説明会（年度末の個別相談含む）を年間35回以上を参加・実施する（R4 34回,R5 37回,R6 46回）。	
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問27「校内では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和9年度には86%以上を維持する（R4 83.1%,R5 82.4%,R6 86.8%）。	
※ 教員向け学校教育自己診断の設問27「この学校では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和9年度には82%以上を維持する（R4 83.3%,R5 73.3%,R6 84.0%）。	
※ 全体の志願者倍率（全体〔総合募集・工学系〕）を、毎年1倍以上確保する（R5入試 0.96倍〔0.94倍・1.06倍〕,R6入試 1.04倍〔1.06倍・0.94倍〕,R7入試 0.93倍〔0.93倍・0.91倍〕）。	
（2）生徒の潜在能力を高め、部活動を含めた様々な大会で成果を出し、近畿大会や全国大会で上位入賞をめざす。	
ア 部活動加入を推奨し、「部活動に係る活動方針」に則った活動と、環境整備や安全対策の強化を図る。	
イ 課題研究や部活動等の大会を通じて、上位入賞をめざす。	
※ 部活動加入率を令和9年度には58%以上を維持する（R4 57.8%,R5 53.0%,R6 58.4%）。	
※ 全工協会のコンテストや部活動等で近畿大会・全国大会へ出展・出場して上位入賞をめざす（R4 グラフィックデザイン系・陸上競技部・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・山岳スキー部,R5 グラフィックデザイン系・工学系・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・ペタンク部・アーツ&クラフツ部,R6 グラフィックデザイン系・工学系・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・ペタンク部）。	
（3）PTAや保護者からの要望を踏まえて改善を図る。	
※ 保護者向け学校教育自己診断の設問13「今工は、教育情報（系選択や就学旅行、進路情報、学校行事など）の情報を提供する努力をしている。」の肯定率を令和9年度には90%以上を維持する（R4 未実施,R5 97.5%,R6 87.1%）。	
※ 保護者向け学校教育自己診断の設問14「授業参観や学校行事等に参加したことがある。」の肯定率を令和9年度には72%以上を維持する（R4 70.9%,R5 64.4%,R6 77.4%）。	
4 働き方改革の推進	
（1）「より働きやすい職場環境づくり」を推進するため、ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論を行い、改善策は図っていく。	
※ ストレスチェック結果における「仕事の量的負担・コントロール度、職場のサポート、総合健康リスク」を、毎年基準値（100、100、100）以下を目標にする（R4 99、100、99,R5 100、105、105,R6 101、100、101）。	
（2）学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化するとともに、「大阪府部活動の在り方に関する方針」・「府立学校における働き方改革に係る取組みについて」などを踏まえ、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。	
※ 在校等時間管理に努め、時間外勤務者のうち月80時間以上を令和9年度にはゼロにする（R4 9人,R5 3人,R6 2人）。	
※ 教員の年間1人当たり在校等時間外の年間720時間以内を令和9年度にはゼロにする（R4 6人,R5 0人,R6 1人）。	
※ 教員の年間1人当たり平均の在校等時間外を毎年360時間以内に抑制する（R4 334.3時間,R5 295.1時間,R6 288.4時間）。	

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和 年 月実施分〕	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R6年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成	（1）「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み	ア・授業見学の機会を促進し、指導方法等の改善を図る。 ・教材活用にICT機器の利用を推奨し、授業アンケート結果の向上を図る。 ・各教科で授業アンケート結果を検証した結果を基に、PDCAサイクルによる向上を図る。 ・様々な機会を通じて授業態度について啓発を行い、向上を図る。 ・各教科でICT機器を活用して発表するなどの場面を計画・実施し、向上を図る。	※ <u>評価指標値は、3年間の平均を基に算出</u> <u>よって、評価指標値は、「R6年度値」より低い場合がある</u> ア・教員向け学校教育自己診断結果の「授業見学への機会」への肯定率74%以上[79.6%] ・授業アンケート質問5（教材活用）結果の2回平均 3.54以上[3.54] ・教員向け学校教育自己診断結果の「指導・教材の工夫等」への肯定率90%以上[92.0%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「授業態度」への肯定率87%以上[90.0%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「考えのまとめ、発表の機会」への肯定率82%以上[87.0%] イ・基礎学力調査の全学年平均C1ランク以上45%以上[44.7%]	
	ア 授業改善と授業のICT化による学力向上			
	イ 基礎学力調査の学習状況と経年変化による指導向上			
	（2）工科高校の特徴ある授業による生徒育成			
	ア PBL手法を取り入れた学習による能力の育成	ア・PBL手法を取り入れた「キャリアデザイン」、「総合的な探究の時間」、「課題研究(合同班)」では、生徒の知識・技術の習得を図る。	ア・授業アンケート質問9（生徒意識2）[知識・技術の習得]結果の2回平均 1年「キャリアデザイン」3.46以上[3.50] 2年「総合的な探究の時間」3.46以上[3.49] 3年「課題研究（合同班）」3.70以上[3.62]	

府立今宮工科高等学校

	イ 課題研究発表会の実施	・PBL手法を取り入れた「キャリアデザイン」、「総合的な探究の時間」、「課題研究(合同班)」の授業アンケート結果を踏まえ、手法や指導書をブラッシュアップし、向上を図る。 イ・各系・合同の課題研究発表会を実施する。	・授業アンケート質問 1 ～ 9 の 2 回平均 1 年「キャリアデザイン」3.54 以上[3.56] 2 年「総合的な探究の時間」3.50 以上[3.51] 3 年「課題研究（合同班）」3.72 以上[3.65] イ・合同課題研究発表会のオンライン映像の見やすさに対する肯定率 68%以上[67.7%]	
2 夢と志を持つ生徒の育成	(1) 豊かでたくましい人間性の育成 ア いじめ対応や教育相談体制の充実 イ 人権教育の推進 ウ 基本的な生活習慣と中退防止 (2) 生徒の自己実現への支援 ア キャリア教育・職業教育の推進 イ 進路指導の充実と進路実現 ウ 離職率調査と就職指導	ア・年 2 回のいじめアンケート実施や教員への相談を行うよう促し、いじめ案件は迅速な対応を行う。 ・担任以外に各クラスのアシスト教員 2 名が支援できる体制づくりと相談室の啓発を行う。 ・様々な機会を通じて生徒から学校生活に関して意見を聴取し、改善等の向上を図る。 イ・様々な機会を通じて人権教育の啓発を行い、生徒の育成を図る。 ウ・様々な機会を通じてマナー・ルールの厳守を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・様々な機会を通じてあいさつの励行を促し、人としての礼儀を身に付けさせる。 ・様々な機会を通じて遅刻の減少を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・常に遅刻・欠席・学力状況を把握し、中学校や保護者との連携により中退防止に努める。 ・学校教育自己診断の保護者コメントや PTA、1 年担任の保護者面談からの意見聴取を踏まえ、課題点を解決していく。 ・学校教育自己診断の保護者コメントや PTA、各学年担任の保護者面談からの意見聴取を踏まえ、課題点を解決していく。 ア・様々な機会を通じて生徒に今工の良さを啓発し、プライドと誇りを養う。 ・授業で課題等を提供し、授業以外での学習時間を継続的に行う習慣を身に付けさせる。 ・職業教育の充実を図り、成功体験を醸成するため、資格取得の推奨を図る。 イ・自身の適性を図るためのテストを実施し、進路選択に役立てる。 ・進路実現を図るため、生徒にきめ細かな進路情報を提供する。 ・自身の適性を踏まえ、企業情報を基に就職試験を合格するための努力を促す。 ・卒業時には、3 年生全員が進路実現を図れるよう指導する。 ウ・就職希望者には、卒業 3 年後の離職率調査を踏まえ、企業選択の指導を行う。	ア・生徒向け学校教育自己診断結果の「いじめ対応」への肯定率 86%以上[87.2%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「相談できる先生」への肯定率 63%以上[68.6%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「学校生活満足度」への肯定率 86%以上[85.6%] イ・生徒向け学校教育自己診断結果の「人権を学ぶ機会」への肯定率 85%以上[88.2%] ウ・生徒向け学校教育自己診断結果の「校内ルールの厳守」への肯定率 93%以上[94.1%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「あいさつの励行」への肯定率 95%以上[97.8%] ・遅刻率 0.8 回以下[0.67 回] ・中退率 1.0%以下[0.51%] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「今工への入学」への肯定率 97%以上[97.3%] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「保護者の願いにこたえる」への肯定率 94%以上[95.1%] ア・生徒向け学校教育自己診断結果の「今工生としての誇り」への肯定率 74%以上[77.2%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「授業以外で 1 時間以上の学習時間」の生徒 20%以上[18.3%] ・資格取得率 80%以上[65.8%] イ・3 年 SPI テスト結果 1.15 倍以上[1.13 倍] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「進路情報連絡」への肯定率 94%以上[95.3%] ・就職一次内定率 85%以上[88.5%] ・進路実現度(就職率・進学率) 100%[98.8%(99.2%・97.7%)] ウ・離職率(R4.3 卒) 22%以下[25.7%]	
3 安全安心で魅力ある学校づくり	(1) 工科高校の魅力発信と志願者確保 ア 広報活動 イ 工科高校の魅力発信 ウ 入学者選抜の志願者確保	ア・出前授業・地域連携等の広報活動を行い、工科高校の良さを PR する。 イ・生徒が出身中学校へ訪問し、学校 PR を行う。 ・3 年間の入試受験実績を基に、中学校を訪問し、学校 PR を行う。 ・中学校や地区別での学校説明会に参加し、学校 PR を行う（個別相談含む）。 ・生徒に学校環境の維持・改善を図る 5 S を指導し、学校美化に努めさせる。 ・教職員に職場環境の維持・改善を図る 5 S を推進し、学校美化を指導させる。 ウ・上記ア、イの取組みを図り、入学者選抜の志願者倍率を確保する。	ア・出前授業・地域連携等の回数 18 回以上[21 回] イ・出身中学校訪問 21 人以上[21 人] ・教員中学校訪問年間 60 校以上[112 校] ・学校説明会（個別相談含む）年間 35 回以上[46 回] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率 84%以上[86.8%] ・教員向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率 81%以上[84.0%] ウ・全体の志願倍率 1 倍以上[0.93 倍]	

府立今宮工科高等学校

	(2) 部活動を含む大会での上位入賞 ア 部活動加入の推奨 イ 課題研究・部活動等の上位入賞 (3) 保護者の要望を踏まえた改善	ア・新入生にクラブ説明会を実施し、体験期間を設け、1年担任からも加入を推奨させる。 イ・課題研究や部活動等で近畿大会や全国大会に出品・出場して上位入賞をめざす。 ・系選択、修学旅行、進路情報、学校行事などの情報提供を図る。 ・参加しやすい授業参観や学校行事等の工夫を図る。	ア・部活動加入率 56%以上[58.4%] イ・様々な大会での上位入賞 6 入賞以上[6 入賞] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「必要な情報を提供する努力をしている」への肯定率 88%以上[87.1%] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「授業参観や学校行事等に参加したことがある」への肯定率 71%以上[77.4%]	
4 働き方改革の推進	(1) ストレスチェック結果を踏まえた改善 (2) 生徒・教職員の健康管理体制の充実	・ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論し改善を図る。 ・安全衛生委員会の議論と教員の働き改革を踏まえ、在校等時間外月 80 時間以上の教職員の縮減を図る。 ・在校等時間外年 720 時間以上の教職員の縮減を図る。 ・平均在校等時間外年 360 時間以内に抑制する。	・仕事の量的負担・コントロール度、職場のサポート、総合健康リスクを基準値 (100、100、100) 以下[101、100、101] ・在校等時間外月 80 時間以上を 1 人以内[2 人] ・在校等時間外年 720 時間以上を 1 人以内[1 人] ・平均在校等時間外年 360 時間以内[288.4 時間]	